

## H 2 6 年度全国自立援助ホーム協議会事業計画

### 重点課題

- ① ホーム数 100 ヶ所を超える全国協議会の組織作りを含めたあり方について再検討を行っていく。
- ② 自立援助ホームの機能・体制強化のため、子どもの主体性を中心にとらえた中での職員配置や労働条件などの改善のための活動を行っていく。
- ③ 自立援助ホームにおける支援の質を高めていくことをめざす。

### 重点事項

- ① 各近隣地域のホーム同士がいかに情報を共有し、日々の支援に活かしていけるかを検討する。また、先駆的に自主的に活動をしている地域の内容を共有していけるような仕組みを計画する。
- ② 国に対しての要望は当然協議会として行っていくが、各自治体に対してもそれぞれの地域やホーム単位で要望・折衝していける力をつけていけるための方策を検討していく。
- ③ 現場スタッフの苦悩から現れる、他の研修にはない自立援助ホーム独自の充実した研修を開催する。
- ④ あり方検討委員会の議論を深め、これからの“自立援助ホーム”のあり方について検討を進めていく。

## 平成 2 6 年度 事務局事業計画

### 1. 事務局員 役割分担

#### ○事務局長 <恒松(あすなろ荘)>

- ・会員ホームの相談対応
- ・協議会の会費の確認の連絡等
- ・各ホームへの補助金等（プロミス・エキスパートなど）の振り込み

#### ○事務局次長 <小久保（カリヨンタやけ荘）>

- ・会計責任者
- ・入会退会関係（入会申し込み書の送付・電話での対応）
- ・運営役員会の交通費の支払い
- ・協議会の会費の徴収・祝い金振込み

#### ○庶務 <大屋（おうぎ寮）>

- ・各種書類（通知文・ハンドブックなど）の配送

#### ○庶務 <田村（倉吉スマイル）>

- ・メールにて各種連絡
- ・運営役員会の議事録
- ・自然災害などの被害届
- ・各委員会の動き・HP・たよりの確認

#### ○庶務 <久野（まつぼっくり）>

- ・運営役員会の開催（日程調整・会議室の確保・参加者に通知）
- ・会計ソフトの管理
- ・決算書・予算書の作成
- ・事務局の事業報告・事業計画の作成
- ・会員データ・会員施設一覧の作成

## 2. 運営役員会の開催予定

第1回	平成26年	4月21日	11:00~12:00	アルカディア市ヶ谷 ホーム長研修会・総会 最終確認
第2回		6月 日	13:00~17:00	場所未定 ホーム長研修会・総会総括
第3回		9月 日	13:00~17:00	場所未定 全国大会について
第4回	11月	28日	11:00~12:00	高知会館 全国大会の最終確認
第5回	12月	日	13:00~17:00	場所未定 全国大会の総括
第6回	平成27年	1月 日	13:00~17:00	場所未定
第7回		3月 日	13:00~17:00	場所未定 次年度ホーム長研修会について・総会について 各委員会の事業報告(案)の確認・事業計画(案)・ 予算(案)についての確認

※開催時期に間に合わない可能性のある議案については、そのつど運営役員にメール等でお知らせし、確認を取る

## 3. 事業計画

- ・平成26年 4月21日 ホーム長研修会 (アルカディア市ヶ谷)
- ・平成26年 4月22日 総会 (アルカディア市ヶ谷)
- ・平成26年11月28日~29日 全国自立援助ホーム 高知大会 (高知会館)

## 平成26年度 制度政策委員会事業計画

平成26年度は、消費税増税に伴い、国家行政の約束であった社会保障制度の充実の一環としての社会的養護施策の大幅な改善を実現するため、以下の要求を掲げ、他の関係団体と共に、その実現に向けた取り組みを行う。

### 1. 職員配置・人件費等に関する事項

《基本的な職員の増員》

- ①現状の6名までの職員配置基準である常勤職員2名と補助職員1名のところを、それぞれ1名ずつの増員(常勤職員3名、補助職員2名の態勢)を要求する。

《「社会生活支援専門相談員」の配置》

- ②「社会生活支援専門相談員」は、入居中におけるリービングケアから退居後のアフターケアに至るまでの一連の支援をする役割を持つもので、「就労自立」を目的とする自立援助ホームにとっては、必要不可欠な専門職員です。退居後の支援、さらに20歳以降の具体的な支援の充実のためにも強く要求する。

### 2. 子どもたちの就労生活等の援助に関する事項

- ①入居支度金、就職支度金を支給する。
- ②在所期間の延長について、当面は児童が20歳の年度末まで可能とする。

③資格取得に向けた助成のさらなる充実をする。

### 3. ホームの運営に関すること

#### 《児童用採暖費の適用》

①児童の冬季の暖房（採暖）に必要な経費について、他の児童福祉施設と同様の適用を要求する。

#### 《施設機能強化推進費の適用》

②自立援助ホームにおいても防災対策を強化する必要性に迫られている。職員はじめ入居児童への防災教育、訓練の実施及び避難具の整備を促進させる必要がある。

③新しいホームが増えている現状において、他のホームと合同での処遇困難事例のケース検討会を開催したり、職員の施設間交流などにより処遇技術を互いに学び合うなど、ホーム間の人的交流、情報交換を通して職員の質（力量）の向上を図り、日々の支援に役立てることが急務である。

### 4. 《家庭裁判所補導委託費の措置費との同額調整》

家庭裁判所の補導委託費については措置費との同額調整が必要である。全国協議会として、最高裁判所に対して正式に申し入れを行う予定である。

また、入居してくる児童の多くは、以前から要保護対象児であることから、特に児童相談所と連携して措置費の調整が出来ないかも検討されるべき点である。

## 平成 26 年度 調査研究委員会事業計画書

### 活動要旨

今年度はあり方検討委員会の簡易調査や、ホーム人数調査を実施しながら、全国自立援助ホーム実態調査や第三弾ハンドブックについての検討、その他、事務局や全国ホームの会員からの要望を踏まえて必要に応じた調査研究を行う。

昨年度の反省を踏まえ、出来ることを確実に実現できる体制と活動を検討していきたい。

#### ① あり方検討委員会、簡易実態調査

自立援助ホームの将来的な機能を模索するため、現在の全国ホームの入居者の背景、傾向を調べ、時代のニーズに即した自立援助ホームの機能を検討していく必要がある。

その為に入居者の背景に加え、職員組織や法人のバックアップ体制を調査する予定。

#### ② ホーム人数調査

毎年、国から要請がある調査を今年も行う。4～5月予定。

#### ③ 全国自立援助ホーム実態調査

全国自立援助ホームの実態調査を実施したいが、あり方検討委員会の簡易調査との兼ね合いを見ながら進めていく予定。

#### ④ 自立援助ホームハンドブック 第三弾検討

事例集や季刊誌について、広報委員会と連携しながら検討していきたい。

#### ⑤ その他

事務局や会員より要望のある調査など、必要に応じて行う

## 平成 26 年度 研修委員会事業計画書

### ●研修委員会全 4 回

●ホーム長研修会 (予定) 平成 26 年 4 月 21 日 於：アルカディア市ヶ谷私学会館

●女性スタッフ研修会 (予定) 平成 26 年 7 月下旬 於：北海道札幌市

- 全国大会 平成 26 年 11 月 27 日～28 日 於：高知県高知市
- 新規開設ホーム研修会 (予定) 平成 27 年 1 月上旬 於：アルカディア市ヶ谷私学会館
- スタッフ研修会 (予定) 平成 27 年 2 月上旬 於：東京都内
- 自主研修支援

## 平成 26 年度 広報委員会 事業計画

### ①広報委員会定期開催

全国自立援助ホーム協議会広報活動推進のため、広報委員会を年 3～4 回開催します。

他の委員会と連携をとりながら、全国会員の要望を丁寧に拾い上げるシステム作りに努めます。

### ②『協議会便り』

全国自立援助ホーム協議会の広報誌として、『協議会便り』を年 2 回発行します。

一回目は、全国大会前の 9 月に発行予定。今年度全国大会開催県である高知県の「南風」ホーム長の紹介および高知県の見どころ紹介を掲載します。

二回目は、年度末の 3 月に発行予定。全国大会に合わせて「中堅スタッフによる座談会」を実施し、その内容を 3 月発行の『協議会便り』に掲載します。

### ③HP の作成と更新

現行のホームページのシステム自体が古く SEO 対策もしにくいため、新しいホームページを作成します。全国の最新ニュースの案内および更新、規約、事業報告や事業計画、また『協議会便り』のバックナンバーをホームページ上で閲覧できるようにしていきます。今後は、全国の加盟ホーム名簿から、各ホームのホームページにアクセスできるようにしていきたい。

### ④全国版パンフレットの作成

自立援助ホームの事業に対する理解を一般に広めるため、コンパクトでわかりやすい自立援助ホームの全国版パンフレットを作成します。